

広報

大洲

No.37

— おおず —

きらめき創造 大洲市
—みとめあい ささえあう 肱川流域都市—




1月3日(木) 肱北河原で、国際空手道連盟極真会館愛媛支部主催の寒げいこが行われ、小学1年生から一般までの約80人が参加し、ことし一年の武芸上達を願いました。

2
2008

平成20年2月号

- ☆12月定例議会 P2~3
- ☆施設使用料・手数料の見直し P4~5
- ☆民生委員・児童委員の紹介 P6~7
- ☆税務関係 P8~10

発行/大洲市役所 編集/総務課
〒795-8601 大洲市大洲690-1 ☎ 24-2111
大洲市公式ホームページ <http://www.city.ozu.ehime.jp>

 SOYINK
広報おおずは、環境に配慮し、再生紙及び大豆インキを使用しています。



12月定例市議会 開 催

大洲市議会第5回定例会が、12月5日から18日までの14日間の会期で開かれました。今回の議会では、平成19年度大洲市一般会計補正予算などの予算関係6件、行財政改革に係る使用料及び手数料の見直しに伴う関係条例の整理についてなどの条例関係8件、人事案件2件、字の廃止などその他7件のあわせて23議案がいずれも可決、承認され、また請願3件が審議されました。

市長の議案提案内容(要旨)

行政連絡機構の再編・統合や税の口座振替制度導入といったソフト面での取り組みをはじめ、最重要課題である治水安全度を高める施策の一つとして、久米川の改修工事が急ピッチで進んでいます。7月には八幡浜・大洲地区運動公園野球場の改修工事が落成し、提唱してきましたスポーツによる町おこしもこれを契機に拍車がかかるものと期待をしています。

また、11月には図書館建設という大きな工事に取り掛かることができました。就任以来、厳しい財政運営を強いられていますが、限られた予算のやり繰りをしながら、公約の実現に腐心してきた状況の中で、図書館建設は、望まれた多くの市民の皆様はもとより、私としても素直に喜びたい出来事です。当分の間は、明るい夢を

多く見ることはできない訳ですが、これまでのように事業の取捨選択をきちんに行い、希望を持ちながら我慢の市政運営に努めていきます。

名誉市民の顕彰と きらめき大賞の創設

大洲市名誉市民条例に基づき、社会、文化または産業の進展に貢献され、その功績のあった人に対して「大洲市名誉市民」の称号を贈りこれを顕彰することとしています。先の議会で同意をいただいた西田司氏にその称号を贈り、長年のご功績を顕彰します。また、市町村合併後にスポーツ、文化などの分野で、全国大会規模で優勝または準優勝をされた人など、該当者の選考を行い、新たに「大洲市きらめき大賞」を創設し、その功績を称えます。

農林水産業費

- 中山間地域における耕作放棄地の発生防止と農地のもつ多面的機能の維持向上を図ります。 26万円
- 県営中山間地域総合整備事業により風おこし地区(肱川地区)営農飲雑用水施設の整備を行います。 1186万円

民生費

- 後期高齢者医療制度への移行準備を行います。 403万円
- 障害者を対象として、地域交流や自己啓発などの社会参加に資することを目的にパソコン操作実習を開催します。 79万円

債務負担

- 図書館の建設にあわせて、蔵書のデータ化など図書館情報システムを構築します。 7600万円

総務費

- 輝かしい功績のあった市民を顕彰します。 68万円
- 道路改良や河川改修工事に伴う地域イントラネット伝送路について、移転などの維持管理を行います。 500万円

土木費

- 都市計画マスタープランの報告書を作成します。 60万円
- 城山公園を整備します。 286万円

消防費

- 災害情報をメールで配信します。 7万円
- 愛媛県の防災行政無線施設の更新事業にあわせて、必要な備品などを整備します。 365万円

12月定例市議会

持続可能な医療保険 制度にしていくために

急速な少子高齢化の進行などを踏まえ、新たな高齢者医療制度の創設、保険者の再編・統合、医療費適正化などの総合的措置を講じた健康保険法などの改正が行われ、平成20年4月から後期高齢者医療制度が創設されることとなりますので、制度移行に向け愛媛県後期高齢者医療広域連合を中心に各種準備を進めています。

農林水産業の振興

市の基幹産業として将来に夢が描けるよう地産地消の推進や新規農産品の育成・産地化を検討するなど、積極的に対応していくとともに、引き続き中山間地域における耕作放棄地の発生防止と農地のもつ多面的機能の維持向上を図ります。

歴史文化の薫り高い 公園を目指して

城山公園は、国庫補助金を得て平成15年度より整備を進めてきました。第1期施工区の21ヘクタールが今年度で完了することとなり

ましたので、第2期施工区として、来年度より城郭の南面から西面の0.3ヘクタールを5カ年で整備します。

防災情報をメールで配信

災害情報を迅速・正確に市民の皆様へ伝達することは防災の基本であり、さまざまな媒体を活用して適切に情報提供することが肝要です。携帯電話などを活用し、事前に登録された市民の皆様へ正確に防災情報をメールで送信するシステムを導入します。

行財政改革について

平成18年3月に大洲市行財政改革大綱及び集中改革プランを策定し、改革推進プランの着実な実行により、厳しい行財政環境の中で多様な市民ニーズに対応しながら、行政効率の向上、財政の健全化に努めているところと、改革推進プランの中でも重要な検討課題である「使用料、手数料などの見直し」に取り組みます。極端な見直しとならないよう、近隣市町や県下の状況なども十分勘案しながら検討した結果、使用料、手数料あわせて31件について見直しを実施します。

補正予算の概要

一般会計補正予算の補正額は、1億3113万2千円です。これにより本年度の一般会計予算総額は、243億899万円で、前年度同期予算と比較いたしますと3億7864万2千円、1.5%の減となっております。

人事案件

人事案件について、議会の同意を受けた人は、次のとおりです。(敬称略)

教育委員会委員

片山 政治〔肱川町宇和川〕(再任)

固定資産評価審査委員会委員

西野 洋一〔若宮〕(再任)
上甲 和男〔長谷〕(新任)
西田 孝〔長浜町下須戒〕(再任)
山本登志夫〔肱川町名荷谷〕(再任)
玉井 縁〔河辺町横山〕(新任)

愛媛県から

地方局再編に関するお知らせ

愛媛県では、今年4月1日、現在の5地方局から3地方局体制に移行し、従来の県民サービスの前線拠点としての役割に加え、「現地即決・現地完結」に主眼を置いた広域行政の中核拠点としての発展を目指します。

南予では八幡浜地方局と宇和島地方局を統合し、宇和島市に南予地方局を、八幡浜市に南予地方局八幡浜支局を設置します。

支局には県民への直接的なサービス提供部門、現場対応が必要な保健所や土木事務所、農林水産普及組織などの事業実施部門、災害・緊急時対応などの危機管理部門を配置し、これまでどおり地域に密着した県民サービスを維持します。

なお、大洲庁舎についてはおおむね現状が維持されます。

問い合わせ先

愛媛県総務部管理局人事課
(組織定員係)
☎089(941)2111
(内線2177)

◆新しい地方局の所在地・所管区域

